

ペーパーレス常任委員会の試行結果について

試行の概要

- 実施委員会 総務・警察常任委員会（12名）、文化・教育常任委員会（12名）
- 実施期間 9月28日（月）～30日（水）
- 使用システム SideBooks（昨年度のタブレット操作体験でも使用）
- 使用端末 議員保有端末を使用（任意のタブレット端末）
希望する議員についてはレンタル端末を使用（iPad 10.2インチ）
※ 議長、副議長は公用端末を使用
- 運営方法
 - ・ 9月25日（金）に全ての委員会資料について、執行部から電子データで納品、議員がインターネットを介して閲覧等ができるようにした。
 - ・ 当日は理事者が各議員の端末に資料を表示させながら説明を行った。

まとめ

参加議員にアンケート（資料2-4）を実施した結果、府議会のICT化（特にペーパーレス会議システムの導入）について、「早急に進めるべき」という意見と「慎重に検討すべき」という意見がある。

アンケート結果概要

- 委員会資料等の事前配布
 - ・ ほとんどの議員が委員会前にネットを使い、委員会資料を閲覧。
- 委員会当日の端末の操作、会議の運営
 - ・ 「問題なし」が多数。
 - ・ 「タブレットの操作に集中するあまり、報告の内容に集中できない」等の意見もあり。
- 今後のICT化の進め方
 - ・ 「ペーパーレス会議システムを導入する」、「紙資料は基本的に廃止するが、各議員で印刷したものをもちこむことは認める」とする意見が多数。
 - ・ 「拙速に進めるべきではない」、「当面、現状のやり方を続けるべき」とする意見もあり。
- 端末の調達について
 - ・ 「公務に用途が限定されたとしても、府が物品管理するレンタル端末を使用」「用途を限定せず使用できるよう、議員が政務活動費等で調達した端末を使用」の両方の意見あり。